

# 国際的な画像共有の枠組み IIIFの課題と展望

一般財団法人人文情報学研究所主席研究員  
東京大学大学院人文社会系研究科人文情報学拠点客員研究員  
国際日本文化研究センター客員准教授

永崎 研宣



# IIIFとは

- Webでの国際的な画像共有の枠組み
- 英国図書館、フランス国立図書館、ハーバード大学、スタンフォード大学等が当初から参加
- Webコンテンツの利活用性を飛躍的に高める
  - Web Annotation技術のアプリケーションの一つ
- 「サイロから画像を解き放つ」
  - 各Webサイトに行かなければ見られない画像を行かなくとも見えるようにする

# Webページでのデモ

- いくつかのIII F対応サイトを閲覧

# 画像配信にまつわる課題

- タイル画像のサイズ
- 大量画像同時配信の問題
  - HTTP/2 の導入
- 画像配信サーバソフトの導入
- タイル画像作成に要する時間
- 公開機関の存在感

# Manifestファイルのサイズ

- その性質上、かなり大きくなってしまふことがある。
  - テキストファイルで数MBになることがある
  - しかし最後まで読み込まないときちゃんと表示できない
- 配信時にZip圧縮するサーバの機能を利用
  - Apacheの場合、mod\_deflate

# https問題

- httpsのサイトではhttpで配信されるIIIFコンテンツを読めない
  - Webブラウザ側のセキュリティ強化のため
- GallicaのIIIFコンテンツはhttpsサイトからは閲覧利用できない。
  - Gallicaは対応する予定はあるそうだが日程は未定。

# 仕様のアップデート

- IIF Presentation APIはVersion3を目指して改良中。
- アップデートにどう対応するか？